



今のわたしも、
未来のあなたも。

個人投資家向け 会社説明会

長瀬産業株式会社

証券コード:8012

INDEX

1. 長瀬産業(NAGASE)について
2. 成長戦略
3. 株主還元
4. まとめ

INDEX

1. 長瀬産業(NAGASE)について
2. 成長戦略
3. 株主還元
4. まとめ

誠実正道

【経営理念】

社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、
社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、
社員の福祉の向上と社会への貢献に努める

▶ NAGASEの概要

創業

1832
年

連結売上高

9,449
億円

連結従業員数

7,484
名

格付(R&I)

A(ポジティブ)

業態

商社

売上総利益 海外比率

54
%

拠点数

25 101
カ国・地域 社

特許出願数

約1,500
件

市場区分

プライム

自己資本比率

49
%

取引企業数

約 18,000
社

時価総額

3,486
億円

※2024年度実績

※2025年8月末時点

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832～

1900～

1970～

2010～

化学品の専門商社としての地位確立

Story 1 染料の取り扱いから化学領域へ

NAGASEグループのグローバル展開

Story 2 海外有力メーカーとの取引を開始

製造・加工、研究開発機能の強化

Story 3 エポキシ樹脂の製造を開始

Story 4 研究開発拠点の設立

食品素材ビジネスの本格化

Story 5 林原(現 ナガセヴィータ)・Prinovaのグループ化

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832～

1900～

1970～

2010～

化学品の専門商社としての地位確立

Story 1 染料の取り扱いから化学領域へ

1832年、長瀬伝兵衛が紅花や布海苔、澱粉を扱う京都・西陣で「鱗型屋」を創業。のちに、天然染料だけでなく、合成染料の取り扱いを開始したことで、化学業界での基盤を確立した。



初代 長瀬伝兵衛



紅花

NAGASEグループのイメージソング「Safflowers」
<https://www.youtube.com/watch?v=X4wDZ92IIAM>

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832～

1900～

1970～

2010～

NAGASEグループのグローバル展開

Story 2 海外有力メーカーとの取引を開始

輸入を通じて海外の製造技術を国内に持ち込む

チバ社

：化学

機能素材

デュポン社

：塗料

機能素材

チバ社

：エポキシ樹脂

電子・エネルギー

イーストマン・コダック社

：映画用フィルム ※

電子・エネルギー

※後にフィルム現像技術を半導体に応用

ゼネラルエレクトリック社(GE社)：樹脂

加工材料

モビリティ

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

製造・加工、研究開発機能の強化

Story 3 エポキシ樹脂を製造開始

Story 4 研究開発拠点の設立

Story 3

1970年
チバ社と合併会社
長瀬チバ(現 ナガセケム
テックス)を設立。
のちに完全子会社化

電子・エネルギー

機能素材

製造機能



長瀬チバ(現 ナガセケムテックス)

Story 4

1990年に
ナガセR&Dセンター
(現 ナガセバイオイノベーション
センター)
2007年に
ナガセアプリケーションワー
クショップを設立

研究開発機能



ナガセR&Dセンター
(現 ナガセバイオ
イノベーションセンター)

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832～

1900～

1970～

2010～

食品素材ビジネスの本格化

Story 5 林原(現 ナガセヴィータ)・Prinovaのグループ化

2012年に林原(現 ナガセヴィータ)、
2019年には米国のPrinovaグループを買収し、
食品素材ビジネスを本格化

生活関連



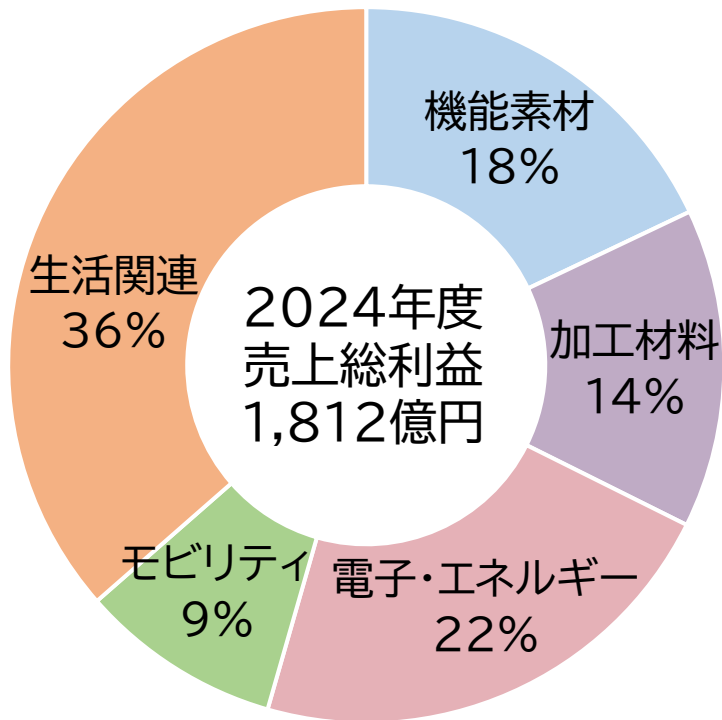
林原(現 ナガセヴィータ)



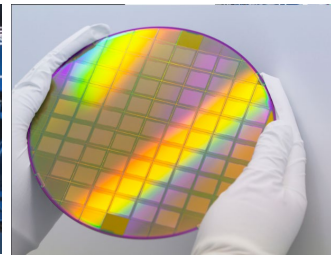
Prinovaグループ

▶ 5つの事業セグメント

自動車、電子機器、土木・建設、化粧品や食品関連など様々な業界に対し、
川上から川下まで幅広く事業を展開



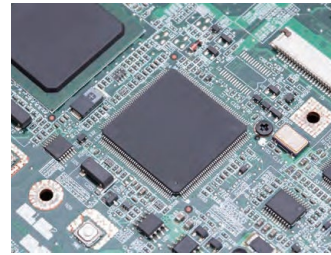
機能素材



加工材料



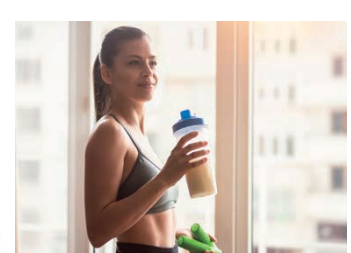
電子・エネルギー



モビリティ



生活関連



※ セグメント別構成比の計算には、
その他・全社、連結調整を含まず

機能素材セグメント

- 化成品事業を基盤として高機能素材を提供
- 塗料・インキ、ウレタン、半導体などの業界向けに事業を展開

強み

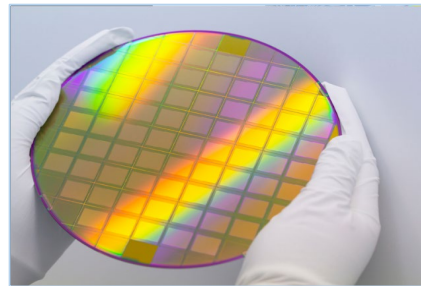
- 長年維持してきた圧倒的シェアに裏付けられるサプライチェーンマネジメント機能
- 長年培った取引先との強固な信頼関係と業界・化学品への深い知見
- グローバルネットワークや課題解決力、専門性

身の回りの製品例

- 自動車や建築用の塗料原料
- 半導体の材料
- 建築用の断熱材原料
- 自動車のシートのウレタン原料
- おむつの原料



塗料・インキ用添加剤



半導体材料



ウレタン原料



SAP(高吸水性ポリマー)原料

加工材料セグメント

- OA機器や電機・電子業界を中心に幅広い業界に合成樹脂を販売
- ナガセアプリケーションワークショップとの連携で付加価値を拡大

強み

- 技術的知見・情報やノウハウ
- サプライチェーンネットワーク
- アジアパシフィックでの充実したサプライヤーおよび顧客基盤

身の回りの製品例

- OA、PCなどに使用される樹脂
- 化粧品容器やカップの樹脂
- 工業用ホース、土木用パイプなど



樹脂ペレット



プリンターの筐体



樹脂製のカップ



工業・土木用パイプ

電子・エネルギーセグメント

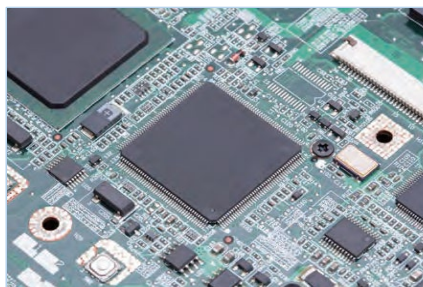
- 半導体や電子デバイスなどの業界の潜在的なニーズを先取りし、グループの製造機能を活用し、オリジナリティの高い製品を提供

強み

- 商社機能とメーカー機能が融合した製販一体体制
- メーカーとしての技術力・開発力を背景としたソリューション提供
- 顧客ニーズを的確に反映した商材探索・提案

身の回りの製品例

- PC、スマホ、タブレットなどの液晶材料
- PC、スマホ、タブレットなどの電子部品材料
- 半導体に使われる材料



変性エポキシ樹脂



半導体材料



ディスプレイ材料

モビリティセグメント

- 自動車の内外装の樹脂や、EV、ハイブリッド車用などのカーエレクトロニクスに関わる商品を扱う
- 自動運転社会の到来を見据えセンサー・電子デバイスへの事業展開を図る

強み

- 幅広い商品群
- 製品・技術の発掘力とグローバルサプライチェーン構築力
- 取引先との強固な信頼関係

身の回りの製品例

- 自動車の内外装などに使われる樹脂
- 車内エレクトロニクス用の製品
- 自動運転用のセンサー部品
- 電動化用の製品
- 車載ディスプレイ関連部材
- リチウムイオン電池材料 など



自動車内装



自動車外装



カーエレクトロニクス
関連部材

生活関連セグメント

- 食品素材、化粧品素材、医薬品原料など景気変動を比較的受けにくい事業を行う
- ナガセヴィータとPrinovaグループを軸にフード事業の拡大を図る

強み

- 業界トップクラスの顧客基盤とグローバルな事業基盤
- グループ内の商社機能、製造機能、研究開発機能を活かす総合力
- 高度な専門知識を有する人財

身の回りの製品例

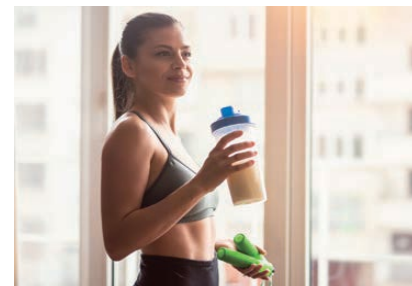
- 食品に含まれる糖質
- 化粧品の原料
- ビタミン、アミノ酸、甘味料などの食品添加物
- プロテインなどのスポーツニュートリション
- 医薬品原料など



食品素材



化粧品素材



スポーツ
ニュートリション



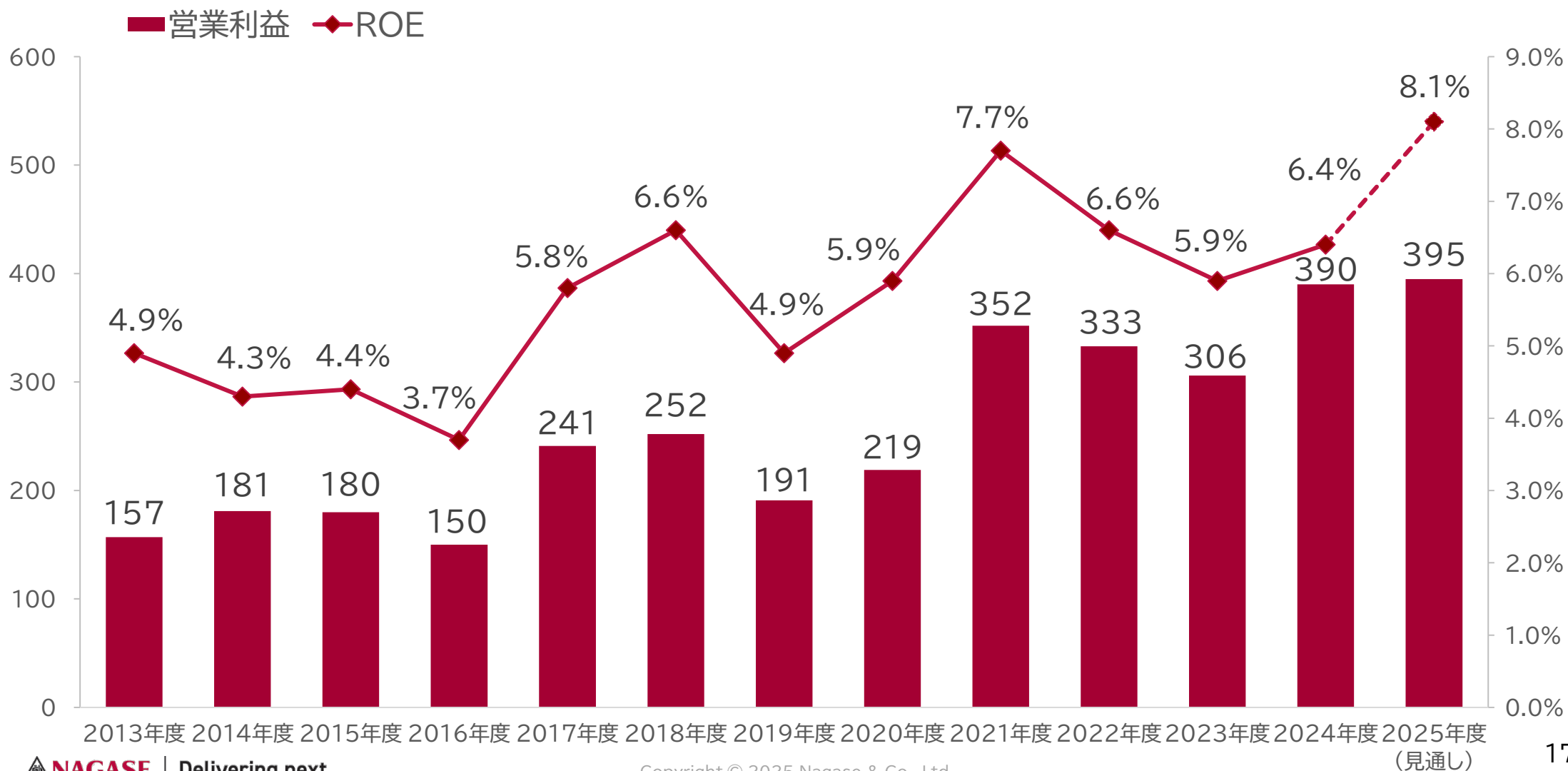
中間体・医薬品原料

業績の推移と見通し

- 2024年度は過去最高益を更新
- 2025年度も増益見込みであり、ROE8.0%以上を目指す

営業利益:億円

ROE:%



INDEX

1. 長瀬産業(NAGASE)について
2. 成長戦略
3. 株主還元
4. まとめ

▶ NAGASEグループのユニークな機能

ものづくりの課題を素材(マテリアル)で解決する会社



商社機能

パートナーとの課題解決

- ・情報の目利き力
- ・課題の探索とマッチング
- ・グローバルネットワーク

製造機能

自社製品による課題解決

- ・独自の素材や技術
- ・製造、品質管理
- ・素材のカスタマイズ

研究開発機能

新素材の開発による 課題解決

顧客・社会の
課題やニーズ

サステナブル
な社会の実現

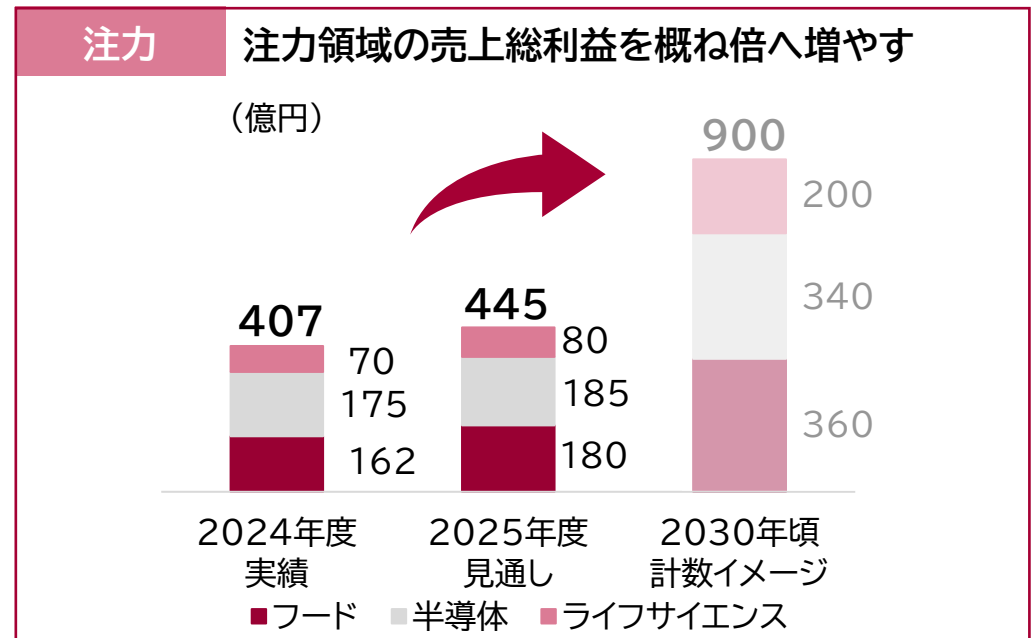
▶ 将来に向けた成長戦略

- 基盤事業である商社機能から生み出された経営資源や情報を注力・育成領域で活用する
- 注力・育成領域に対する2023年度以降の潜在的な投資額は約800億円
- 中長期的な利益規模・利益率の向上を狙う



基盤 注力領域と育成領域の強化に繋がるキャッシュと付加価値の高い情報を獲得

育成 将来の収益源となる分野で、新たなチャレンジを進める



改善 損失を削減

※ 2025年度より、Prinovaグループにおいて製造原価と販売費及び一般管理費の区分を一部変更しております。2024年度本決算時点では2024年度実績について変更後の概算値を用いておりましたが、2025年度 第1四半期時点で確定値へ差替えております。

▶ 注力領域について

注力領域		
特定分野の製造機能	主な製造機能	ビジネスの機会
フード	  ナガセヴィータ株式会社	健康志向の高まり フードロスに対する課題意識
半導体	 ナガセケムテックス株式会社	AI用最先端半導体の需要増 環境意識の高まり
ライフサイエンス	 ナガセヴィータ株式会社  ナガセダイアグノスティックス株式会社	高齢化社会/健康志向の高まり

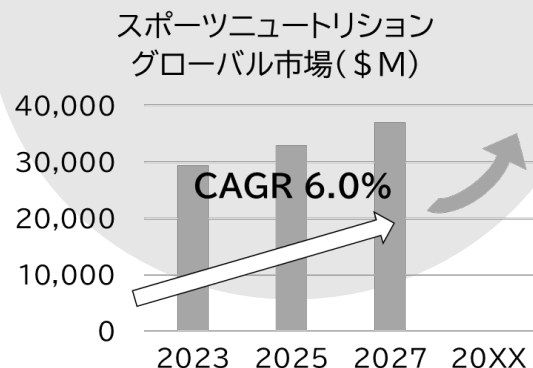
▶ 注力領域について

注力領域		
特定分野の製造機能	主な製造機能	ビジネスの機会
フード	  ナガセヴィータ株式会社	健康志向の高まり フードロスに対する課題意識
半導体	 ナガセケムテックス株式会社	AI用最先端半導体の需要増 環境意識の高まり
ライフサイエンス	 ナガセヴィータ株式会社  ナガセダイアグノスティックス株式会社	高齢化社会/健康志向の高まり

注力 フード分野の製造機能

【社会課題】

- ・世界的な健康志向の高まり
- ・フードロスに対する課題意識

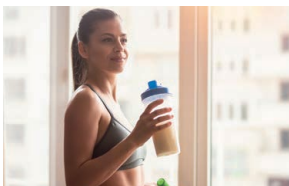


引用元:© Statista 2023のデータをもとに当社作成

収益性の高い製造加工ビジネスを拡大する

健康寿命の延伸
フードロスの低減

- ・ 拡大する**スポーツニュートリション市場**に対して米国Prinovaの製造機能を活用してビジネスを展開
- ・ 健康志向の消費者など**新たなカテゴリー**の開拓にも取り込む
- ・ 食品素材における**独自の調達力**を活かし、北米、欧州に続き**南米、アジアへの事業拡大**を進める
- ・ ナガセヴィータが製造する**自然由来の多機能糖質 トレハロース**のビジネス拡大

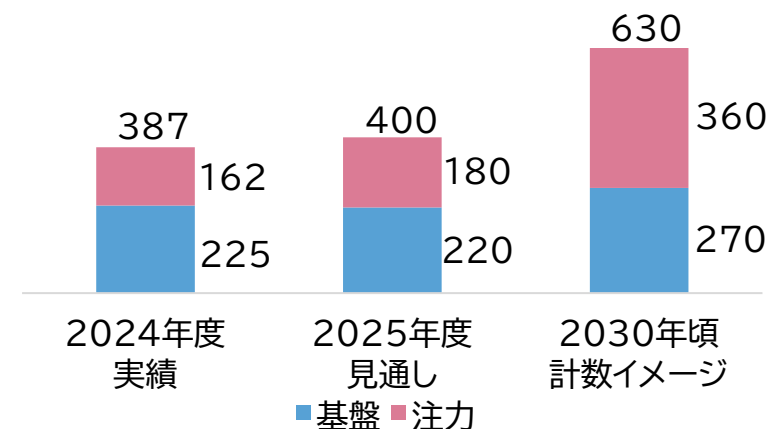


- ・ 成長性の高いスポーツニュートリション市場との接点
- ・ **グローバルをカバーする販売網**
- ・ **M&Aの経験とノウハウ**
- ・ ワンストップで調達から製造まで提供できるビジネスモデル



- ・ 食品素材、パーソナルケア素材、医薬品素材などバイオテクノロジーをベースに幅広い事業を展開
- ・ 自社製造の機能性食品素材を含む多様な素材ラインナップ
(自社素材:**トレハ®**、ファイバリクサ®, ヘスペリジン等)

フード分野の売上総利益 (億円)



▶ スポーツニュートリション市場の動向

米国ではマーケットが細分化され、利用ユーザー層も拡大

ユーザー層



プロフェッショナル/ボディビルダー・スポーツ選手等
(競技人口:少 × 摂取頻度・量:大)

一般生活者/スポーツ愛好家・ウィークエンドアスリート
(競技人口:中～大 × 摂取頻度・量:中～大)

製品イメージ



Pea Protein
大豆アレルギー
対応品



Beauty
健康維持
美容と健康



GREENS
ビタミン等の
栄養素

▶ フード分野における投資

ブラジルにおけるフード事業拡大に向け Aplinova 社を買収 ～グローバルサウスにおける顧客チャネル基盤の拡大へ～



Aplinovaについて

所在地：ブラジル・サンパウロ

事業内容：プレミックス、フレーバー、着色料、粉末油脂等の食品向け素材・加工品の販売・受託製造

拠点：本社、工場、物流センター

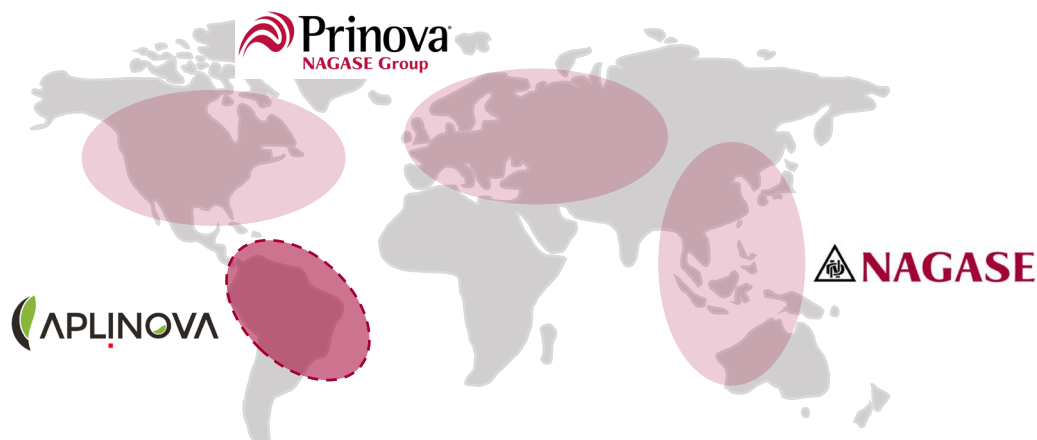
従業員数：79名



スキーム

Prinovaによる全株式取得

Prinova顧客の南米展開を
Aplinovaを通じてサポート



買収の目的

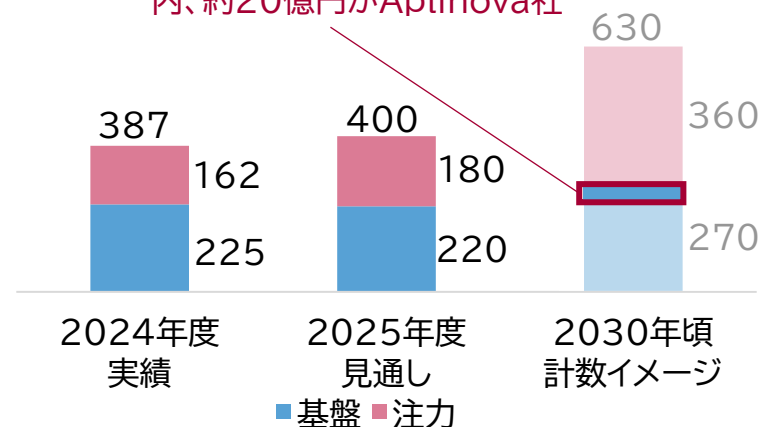
- ✓ グローバル展開の一環として、南米市場を強化
- ✓ Aplinova社の顧客基盤1,000社超で顧客チャネルを拡大
- ✓ Prinovaグループのアミノ酸・ビタミンなどの販路を拡張



規模

- ✓ 2030年度の売上総利益約20億円を目指す
NAGASE:フード分野の売上総利益（億円）

内、約20億円がAplinova社



※ 2025年度より、Prinovaグループにおいて製造原価と販売費及び一般管理費の区分を一部変更しております。2024年度実績も含め当該変更による組替え反映後の概算値となります。

▶ ナガセヴィータのフード分野の事業 Nagase Viita

ナガセヴィータ株式会社

- 長年培った**酵素利用技術**と**バイオテクノロジー**を活用した**自然由来の食品素材**により、**食のサステナビリティ**を推進する

特に強みをもつ製品

- **トレハロース**:キノコ類や酵母に含まれる天然の糖



食品に加えることで、品質を安定させるなどの効果を与える多機能糖質
和洋菓子や冷凍食品などに使用されている

ナガセヴィータが世界初のトレハロースの大量生産技術を開発

トレハロースの主な機能

でん粉老化抑制



不使用

トレハ®使用
(生米に対して10%)

野菜などの
変色の抑制



無処理



トレハ®10%
水溶液処理

たんぱく質
変成抑制



不使用



トレハ®使用
(卵重量の3%)

結晶性



不使用



トレハ®使用

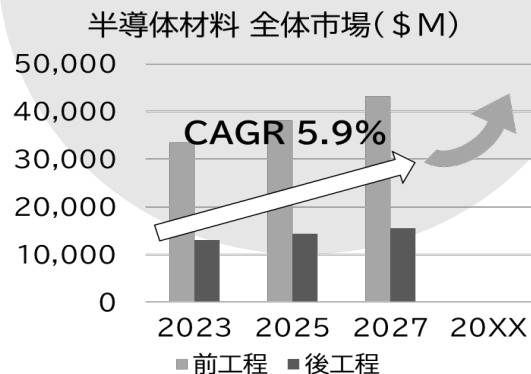
▶ 注力領域について

注力領域 特定分野の製造機能	主な製造機能	ビジネスの機会
フード	  ナガセヴィータ株式会社	健康志向の高まり フードロスに対する課題意識
半導体	 ナガセケムテックス株式会社	AI用最先端半導体の需要増 環境意識の高まり
ライフサイエンス	 ナガセヴィータ株式会社  ナガセダイアグノスティックス株式会社	高齢化社会/健康志向の高まり

注力 半導体分野の製造機能

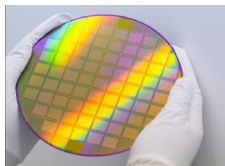
【社会課題】

- ・AI用最先端半導体の需要増
- ・環境意識の高まり



引用元: 富士経済のデータをもとに当社作成

Nagase ChemteX
ナガセケムテックス株式会社



- ・エレクトロニクスやケミカルなどの領域で独創的な技術を持つ製造会社
- ・長年にわたり独自の合成技術・配合技術・評価技術を蓄積
- ・半導体の封止材等に用いられる変性エポキシ樹脂等の高機能樹脂
- ・半導体や液晶製造の微細加工などで使用されるプロセスケミカルの薬液

生成AIサービスの普及で急成長している
最先端半導体市場において
高付加価値製品の販売をさらに拡大

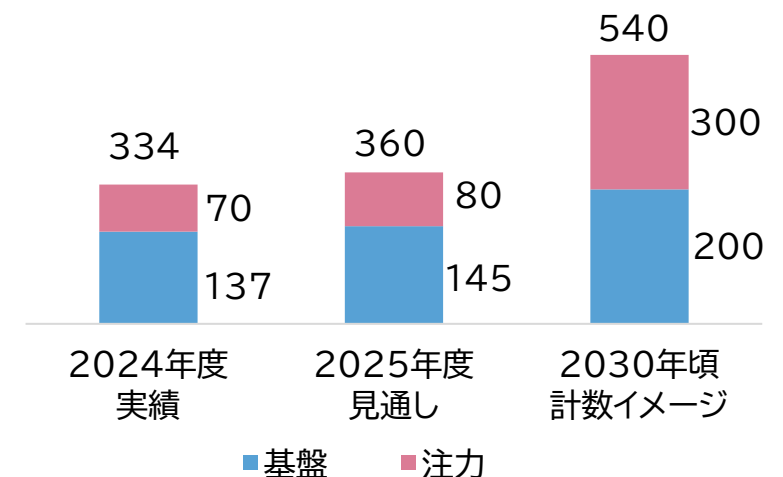
最先端半導体の製造に
欠かせない高付加価値な
素材を提供

- ・ AIなど最先端半導体用の封止材で、業界標準の地位を確立
- ・ 国内初となる半導体製造工程で使用された現像液を回収・再生するシステムを推進、拡大
- ・ Rapidus株式会社の取りまとめ業者などで商権をさらに拡充、海外展開にも活用
- ・ 化学品取扱(運送・保管、輸出入)のノウハウ、サプライチェーンマネジメントの強化

半導体分野の売上総利益 (億円)

SN Tech
(旧) Sachem グループ

- ・ 現像液の回収・再生事業



▶ 半導体分野の強み

- ・当社主催のセミナーを開催
社外より140名が参加し、
最新動向の共有と人脈を形成
- ・国内、海外の研究機関と連携

Rapidus(株)の材料輸送のとりまとめなどにより
最新の業界動向を把握
海外への輸出拡大、海外品の輸入販売

300社以上の半導体関連メーカー
との取引実績

戦略地域の拡大
日本・台湾・米国・欧州
・韓国・中国・インド(近い将来)



商社

その他
サービス
研究



素材
&
サプライ
チェーン

グローバル

製造

△ Nagase ChemteX
ナガセケムテックスの液状封止材
は先端半導体用途での業界標準
これに続く次の業界標準の創出へ

装置

半導体薬液リサイクルシステムを
業界大手のお客様へ販売
TMAH※の安定供給と
環境負荷低減を実現

※TMAHは全デバイスに使用される
材料で、「環境×材料」での重要な原料

▶ 半導体業界でのバリューチェーン

半導体材料

シリコンウェハ
- 前々工程

半導体チップ
- 前工程

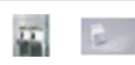
半導体パッケージ
- 後工程

機能素材セグメント

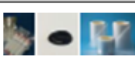
電子・エネルギーセグメント

 Nagase ChemteX
ナガセケムテックス株式会社

Monomer	Polymer	Photosensitive Material
		
Photoresist	Photoresist DAF	Photoresist
Process Chemical	Epoxy	Filler
		
Wafer	CCL, EMC	CCL, EMC, CMP
Solvent	Glass	Additive
		
CMP, CCL	CCL	Resist, CCL, EMC, CMP, DAF

Ingot	Slicing	Lapping
		
Poly Silicon Dopant	Wire Coolant	Powder Coolant
Etching	Edge Polishing	Polishing
		
Chemical	Tool Tape	Slurry Pad
Cleaning	Sorting Packing	SN Tech
		
Machine Cleaner	Tools Clean Bag	

Wafer	Deposition	Mask
		
Wafer Reclaim	Gas Precursor Gas cabinet	Antistatic Agent /Pellicle
Lithography	Etching Cleaning	CMP Cleaning
		
Photoresist Chemical	Tool Chemical Coolant	Slurry Brush Cleaner
Inspection	Sorting Packing	SN Tech
		
Machine	Tool Wafer case	
Environment Control	Chemical Recycle	SN Tech
		
AMC filter Clean System	Recycle	

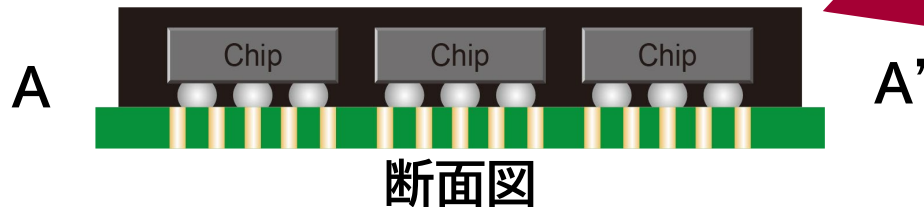
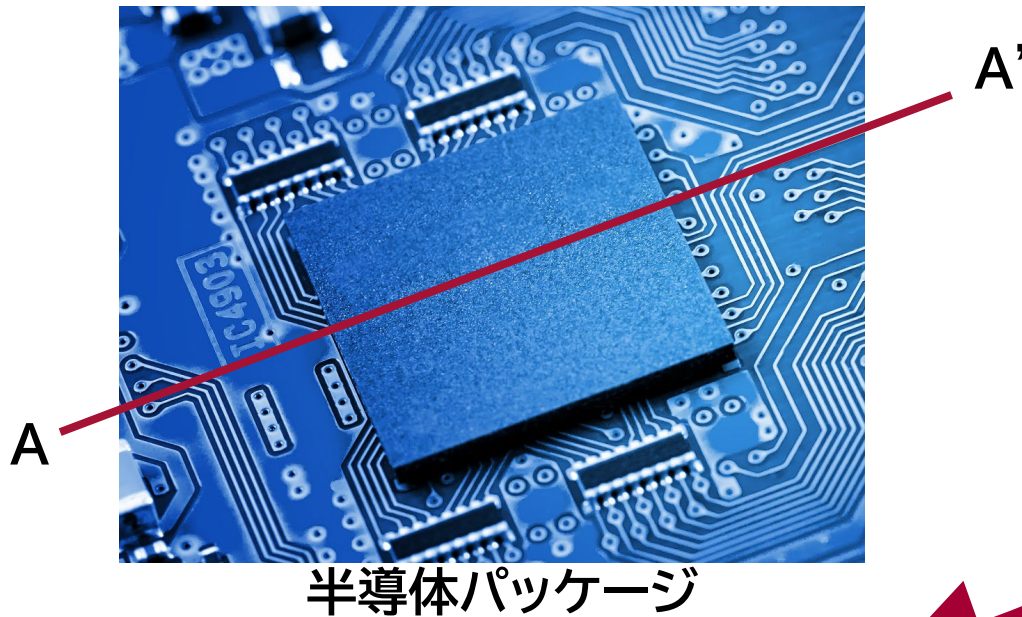
Carrier	Temporary Bonding	Molding
		
Glass Carrier	TBA/TBF	LMC ETFE Film
RDL	E-less plating	Bumping
		
Wet Chemical Polyimide	E-less Plating	Solder Ball Placement Electro Plating
Bonding	Probing	tools
		
LAPLACE-FC	Probe Card Cleaning Sheet	Wafer Handling Tolls
Environment Control	SN Tech	
		
AMC filter Clean System		

化学品

半導体

▶ 半導体の封止材におけるNAGASEの強み

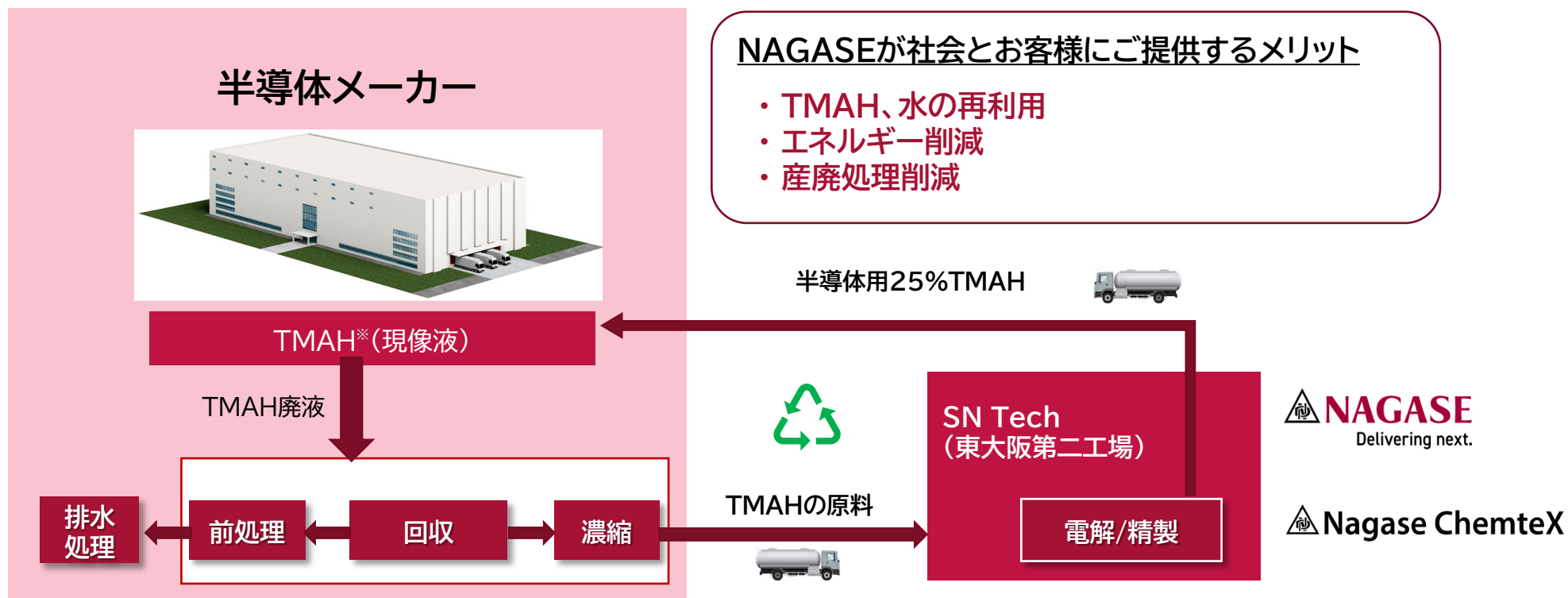
AI用の最先端半導体向けの**液状封止材**で圧倒的なシェアを誇る



▶ 半導体製造プロセスにおける現像液の回収・再生事業

国内初 半導体製造に使用される現像液の回収・再生を事業化

今後生産量が増加していく半導体業界に対して、製造プロセスによる
環境負荷低減へのソリューションを提供



※ 半導体やフラットパネルディスプレイの製造工程で使用される現像液
テトラメチルアンモニウムヒドロキシド

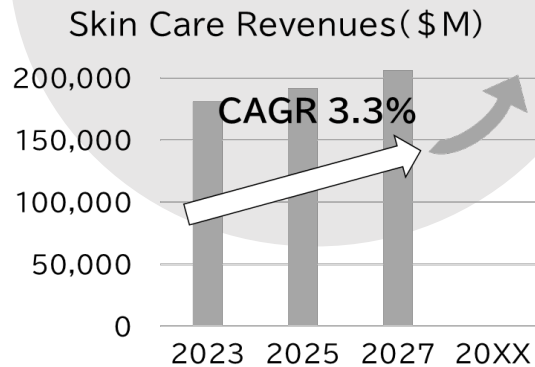
▶ 注力領域について

注力領域	主な製造機能	ビジネスの機会
特定分野の製造機能		
フード	  Nagase Viita ナガセヴィータ株式会社	健康志向の高まり フードロスに対する課題意識
半導体	 Nagase ChemteX ナガセケムテックス株式会社	AI用最先端半導体の需要増 環境意識の高まり
ライフサイエンス	 Nagase Viita ナガセヴィータ株式会社  Nagase Diagnostics ナガセダイアグノスティックス株式会社	高齢化社会/健康志向の高まり

注力 ライフサイエンス分野の製造機能

【社会課題】

- ・高齢化社会・健康志向の高まり
- ・サステナビリティへの意識の高まり



引用元: © Statista 2023のデータをもとに当社作成

Nagase Viita
ナガセヴィータ株式会社



- ・ 酵素利用技術とバイオテクノロジーを活用した**安心安全なバイオ由来素材**を提供
- ・ 食品素材の**医薬品素材への用途展開**を推進

Nagase Diagnostics
ナガセダイアグノスティックス株式会社



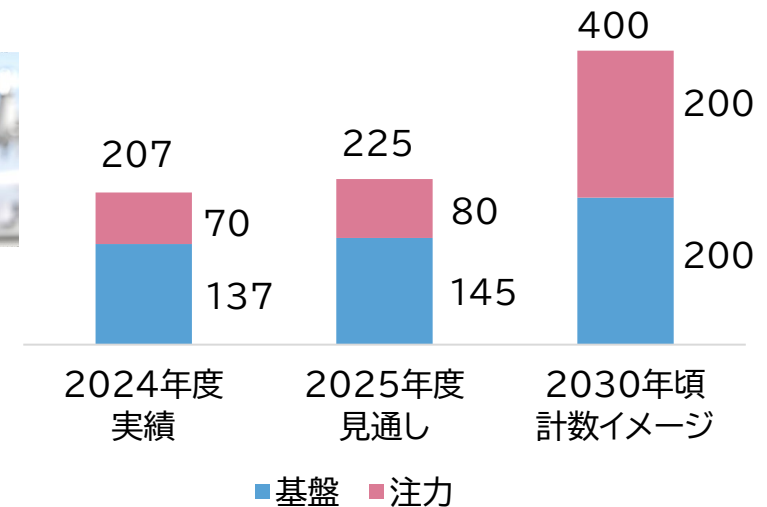
- ・ 成長市場の診断薬分野での製品ラインナップ拡充
- ・ **NAGASEグループのネットワークと統合し販売拡大**
- ・ 高感度な酵素技術×NAGASEの研究開発力で**新製品開発**

サステナビリティへの意識が加速する
ライフサイエンス市場において市場トレンド・
顧客ニーズに合った自社素材を提供していく

安心安全なバイオ
由来素材の提供

- ・ナガセヴィータの**素材・技術**で医薬品、化粧品領域での事業を拡大
(AA2G®、プルラン、トレハロースSGなど)
- ・ナガセダイアグノスティックスの**診断薬・診断薬酵素**の海外への拡販推進
- ・ナガセダイアグノスティックスとナガセヴィータの**酵素ライブラリ**の掛け合わせによる**新製品の開発**

ライフサイエンス分野の売上総利益(億円)



▶ ナガセヴィータのライフサイエンス分野の事業

- 酵素利用技術とバイオテクノロジーを活用した安心安全なバイオ由来素材を提供
- 食品素材の医薬品素材への用途展開を推進

特に強みをもつ製品

●AA2G®



自然由来の安定型ビタミンCで、ビタミンCと酵素、でん粉が原料
国内外で、スキンケア化粧品に配合されている

●トレハロースSG



医薬品添加剤用のトレハロース
需要が高まる抗体医薬品の品質安定性向上に貢献

●プルラン



微生物が作り出す多糖
フィルム形成性を有するため医薬品カプセル市場に展開

▶ ライフサイエンス分野における投資

旭化成ファーマ(株)の診断薬事業などを買収

～酵素製造と販売網の拡大、研究開発でのシナジー～



対象事業について

専門人材と先端設備
高シェアで強固な顧客基盤

所在地：静岡県

事業内容：診断薬および診断薬用酵素の開発、製造、販売
事業。診断薬用酵素原料および医薬品原薬製造

拠 点：大仁医薬工場と統括センター

従業員数：205名



スキーム

旭化成ファーマ(株)が対象事業を会社分割(新設分割)した新会社の
全株式取得



買収の目的

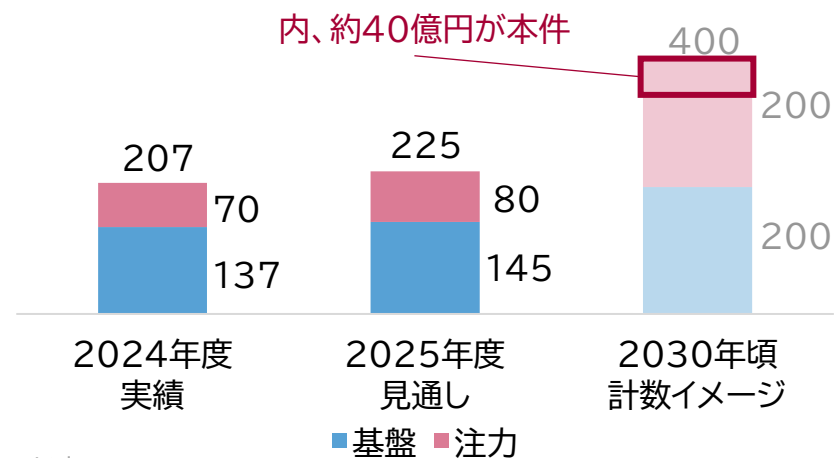
- ✓ 成長市場の診断薬分野での製品ラインナップ拡充
- ✓ NAGASEグループのネットワークと統合し販売拡大
- ✓ 高感度な酵素技術×NAGASEの研究開発力で新製品開発



規模

- ✓ 2030年度の売上総利益約40億円を目指す

NAGASE: ライフサイエンス分野の売上総利益 (億円)



研究開発(バイオ技術)の取り組み

抗酸化効果を持つエルゴチオネインの発酵法を用いた量産化を目指す

エルゴチオネイン

- ✓アミノ酸の一種でキノコ等に含まれる天然成分
- ✓強い抗酸化作用を有し、高い安全性が担保されている

期待される効果は？

- ✓認知への効果
- ✓肌しわ・シミの改善
- ✓快適な睡眠



バイオ由来の高吸水性ポリマーの開発に成功、事業化を目指す

生分解性SAP

- ✓でん粉を主成分としながら、高い吸塩水性能を実現
石油由来品と同等レベル、他社の生分解性SAPの6倍超
- ✓土壌や海水での分解が可能

SAP(高吸水性ポリマー)とは？

高い吸水性能を有する高分子材料で、紙おむつや、農業、緑化分野や化粧品など幅広い分野で使用されている
石油由来品が主流で、環境負荷が大きいことが課題



ナガセをさがせ。 

おむつ問題は、
水に流そう。

年間約193億枚^{※1}。乳幼児用と大人用あわせて
膨大な量が生産されている紙おむつは、使用後ほとんどが
焼却処分されています。その際にCO₂を大量に排出
することから、環境への影響が懸念されてきました。
そこでNAGASEは、でんぷんを原料に使った
「生分解性SAP(高吸水性ポリマー)」
を開発。従来と同等以上の吸水性能を実現
しながら、土壌や海水での分解を可能に^{※2}。
実用化すれば焼却処理の量を大幅に減らせる
ため、環境負荷も削減できます。社会の課題
をマテリアルで解決し、世界のパート
ナーと道もりのある未来を創造する。
私たちはNAGASEです。

 生分解性

 **NAGASE**
Delivering next.

※1 2022年 環境省「1人当たり紙おむつ消費量」調査より推定
※2 2023年 環境省「生分解性プラスチック製品」調査より推定

NAGASEの技術を開発・製造・販売する
長瀬産業株式会社

※2023年10月31日「日本経済新聞」へ出稿

INDEX

1. 長瀬産業(NAGASE)について
2. 成長戦略
3. 株主還元
4. まとめ

▶ 株主還元方針

- 資本の増加を抑制し、ROE8.0%以上の達成を確実なものとするため、2024年度、2025年度の限定措置として総還元性向100%とすることを決定

(ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 × 100)

従来方針

新方針(～2025年度)

総還元
性向

—

100%

配当

原則継続増配

原則継続増配

※変更なし

自己株式
取得

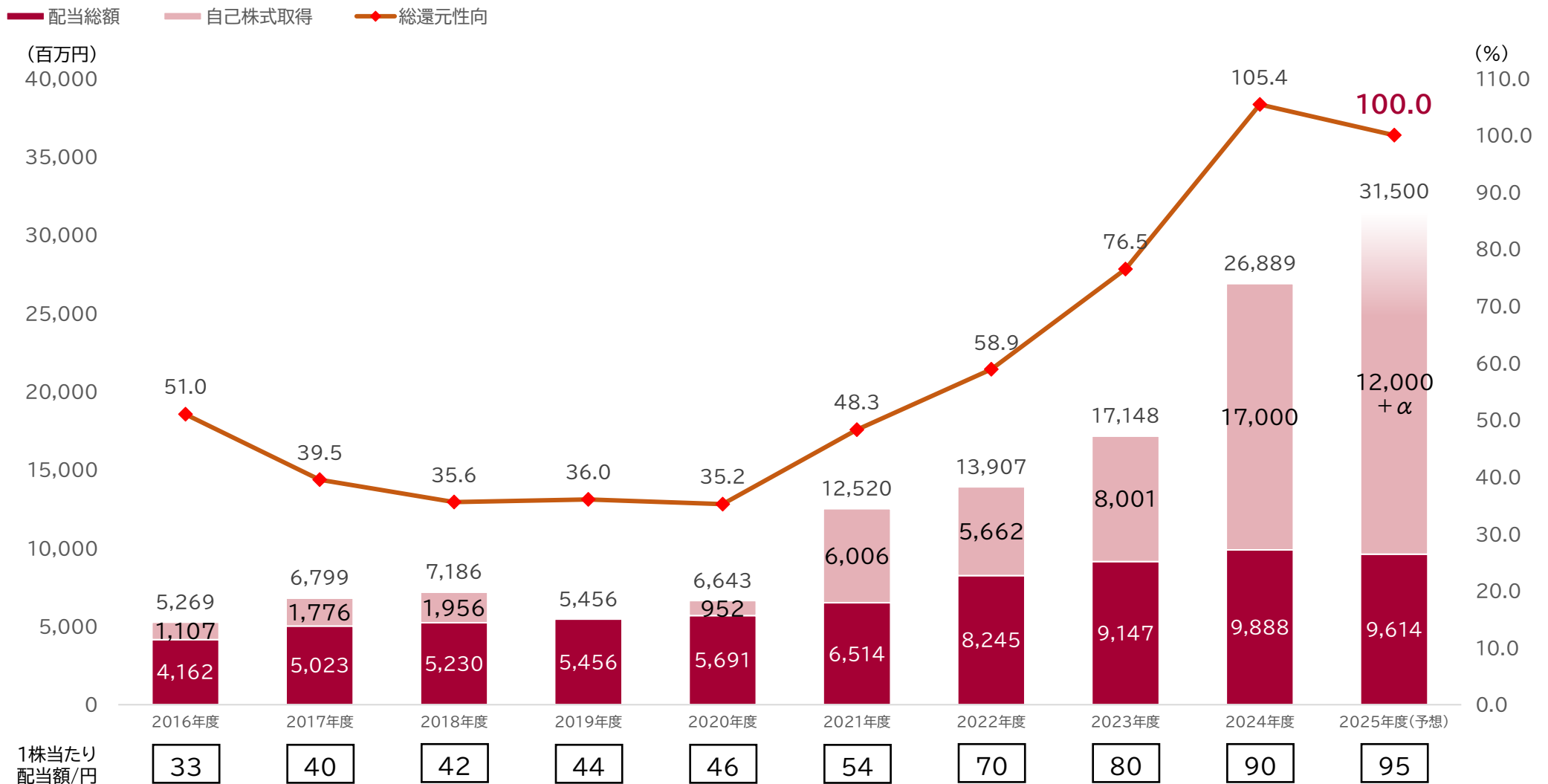
政策保有株式の売却額を
上限とし、機動的に実施

機動的に実施

株主還元方針

●2025年度の1株当たり配当金は中間45円、期末50円の年間95円を予定
(16期連続増配見通し)

●2025年5月に120億円の自己株式取得を決議し、8月末時点での取得価額の総額は95億円



INDEX

1. 長瀬産業(NAGASE)について
2. 成長戦略
3. 株主還元
4. まとめ

▶ まとめ

ものづくりの課題を素材(マテリアル)で解決する会社

事業 内容

フード・半導体・ライフサイエンス・電子デバイス・モビリティ・化学工業市場におけるものづくりの課題を商社機能、製造機能、研究開発機能を活かして解決

成長性

フード・半導体・ライフサイエンス分野の製造機能、バイオ分野の研究開発機能にリソースを集中注力・育成領域に対する2023年度以降の潜在的な投資額は約800億円

安定性

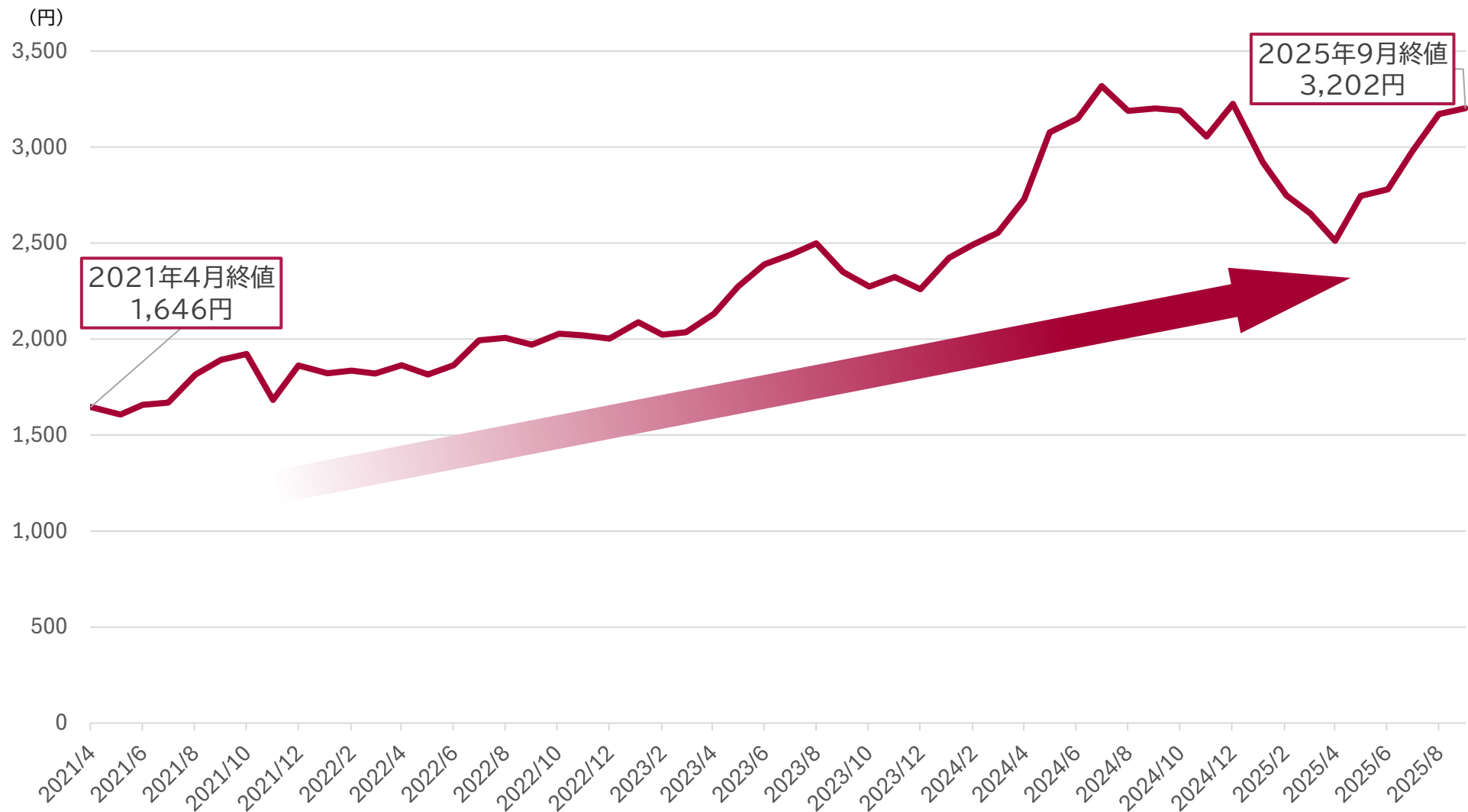
自己資本比率49%(2025年3月末時点)
特定の市場・地域に依存せず、バランス良く収益を稼ぐ

株主 還元

2024年度、2025年度の2年限定で総還元性向100%を掲げる
2025年度の1株当たり配当金は中間45円、
期末50円の年間95円を予定(16期連続増配見通し)

▶ 株価の推移

成長戦略と資本戦略の両輪で企業価値の向上を図る





個人投資家向け 会社説明会

長瀬産業株式会社

証券コード:8012



■お問合せはこちらから

<https://www.nagase.co.jp/contact/>

■当社ウェブサイト 投資家情報ページ

<https://www.nagase.co.jp/ir/>

当プレゼンテーション資料には、2025年10月3日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。